



2022年3月期 | 第108期  
**決算説明資料**

2022年5月18日  
フタバ産業株式会社  
(#7241)



**FUTABA**



1. 2022年3月期 連結決算概況

2. 2023年3月期 通期業績見通し

参考資料

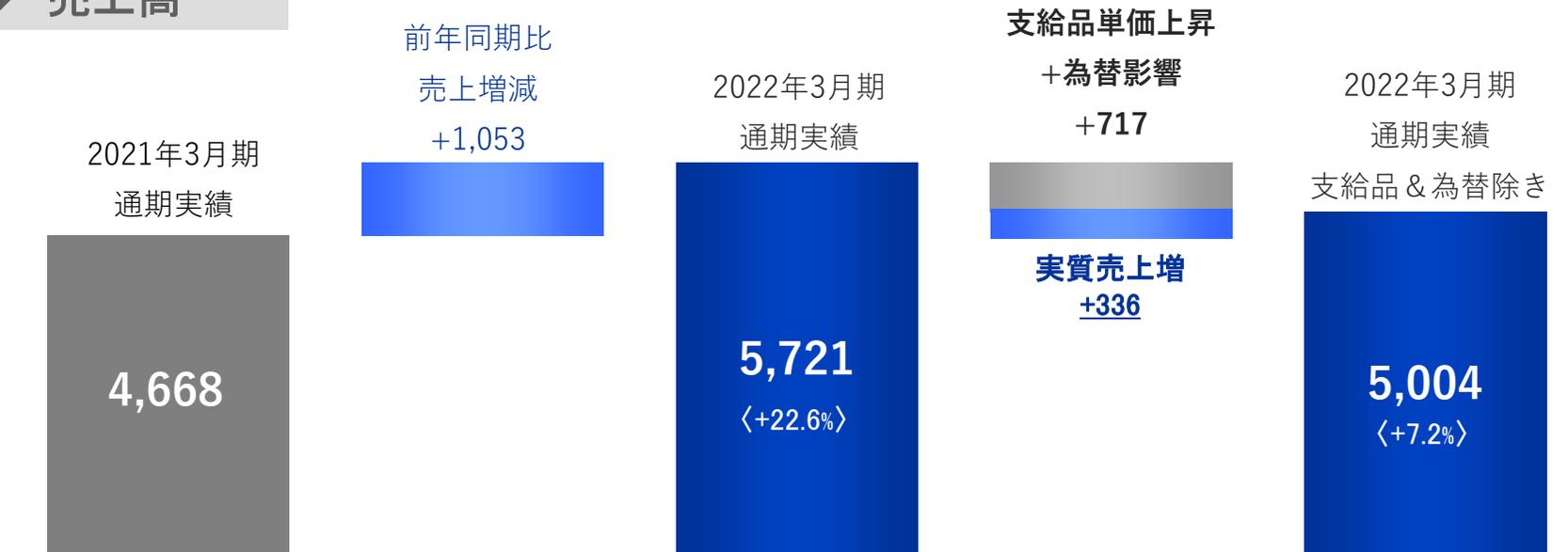
単位：百万円

	2022年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	増減	増減率
売上高	572,118	466,809	+105,308	+22.6%
営業利益	6,115 (1.1%)	7,780 (1.7%)	▲1,665	▲21.4%
経常利益	7,807 (1.4%)	7,962 (1.7%)	▲154	▲1.9%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,307 (0.6%)	4,095 (0.9%)	▲787	▲19.2%
為替レート (1ドル)	112.4 円	106.1 円	6.3円の円安	

※ ( ) 内は売上高比率を表示

## ◆ 売上高

〈 〉 増減率 単位：億円



- ・ 売上高は前年同期比で+1,053億円の増収
- ・ 支給品単価上昇影響 (+480億円) 為替影響 (+237億円) を除くと +336億円の増収

### 支給品単価上昇とは

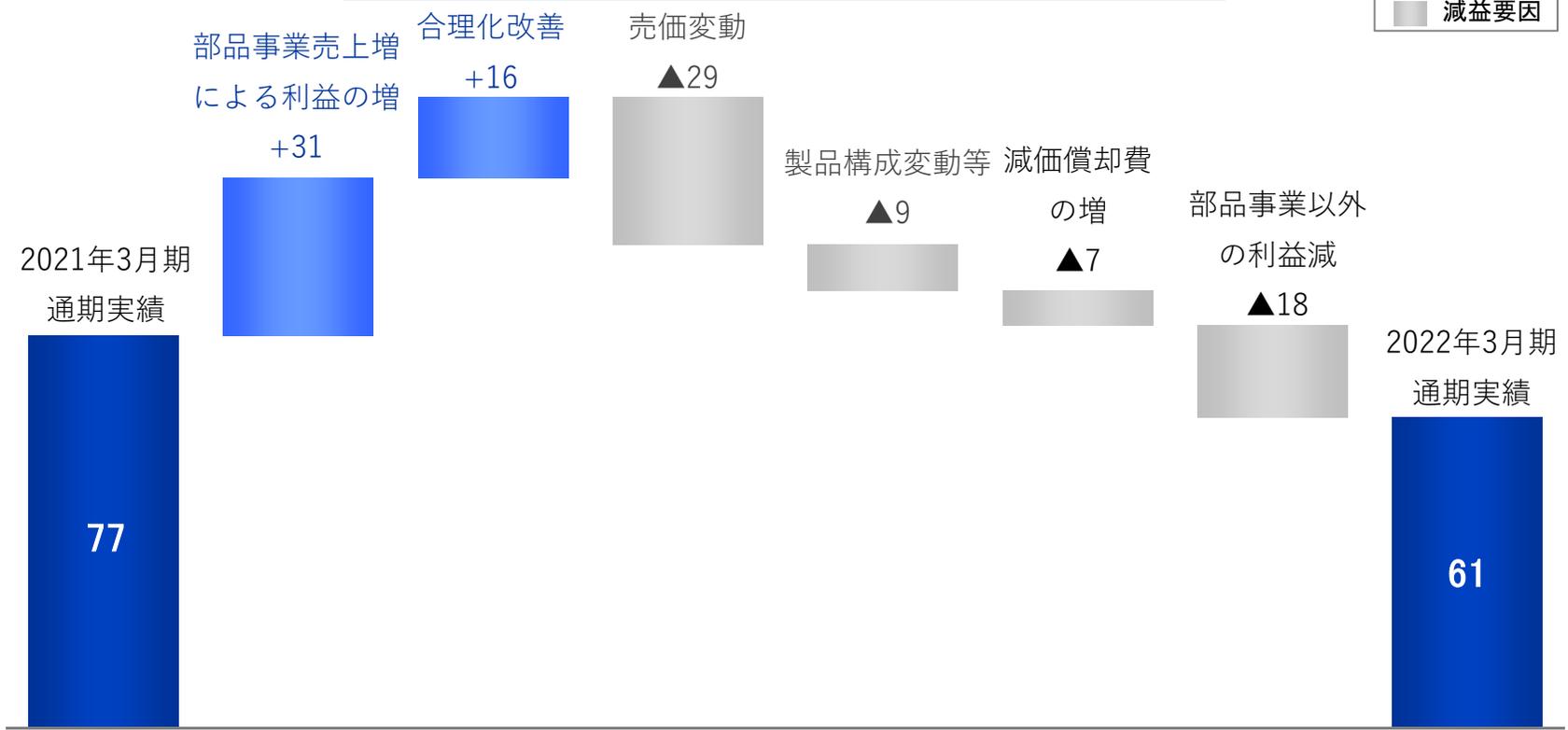
- ・ 排気系部品に使用される触媒の得意先からの支給価格が上昇 (貴金属価格高騰のため)
- ・ 支給品を含む製品の売上価格も同額上昇するため、利益影響はない

# 営業利益の増減分析 前期比

営業利益の増減 **▲16億円** (77億円 → 61億円)  
 1Q:+94億円 2Q:▲36億円 3Q:▲48億円 4Q:▲26億円

単位：億円

■ 増益要因  
 ■ 減益要因



- ・ 売上高は支給品単価上昇や為替影響を除いても、前期に対し増収し、増益に寄与
- ・ 一方、金型等の部品以外の事業での減益や、新規車種立上げに伴う減価償却費の増加、生産準備費用の発生等により、通期で減益

# セグメント別売上高と営業利益 前期比

5

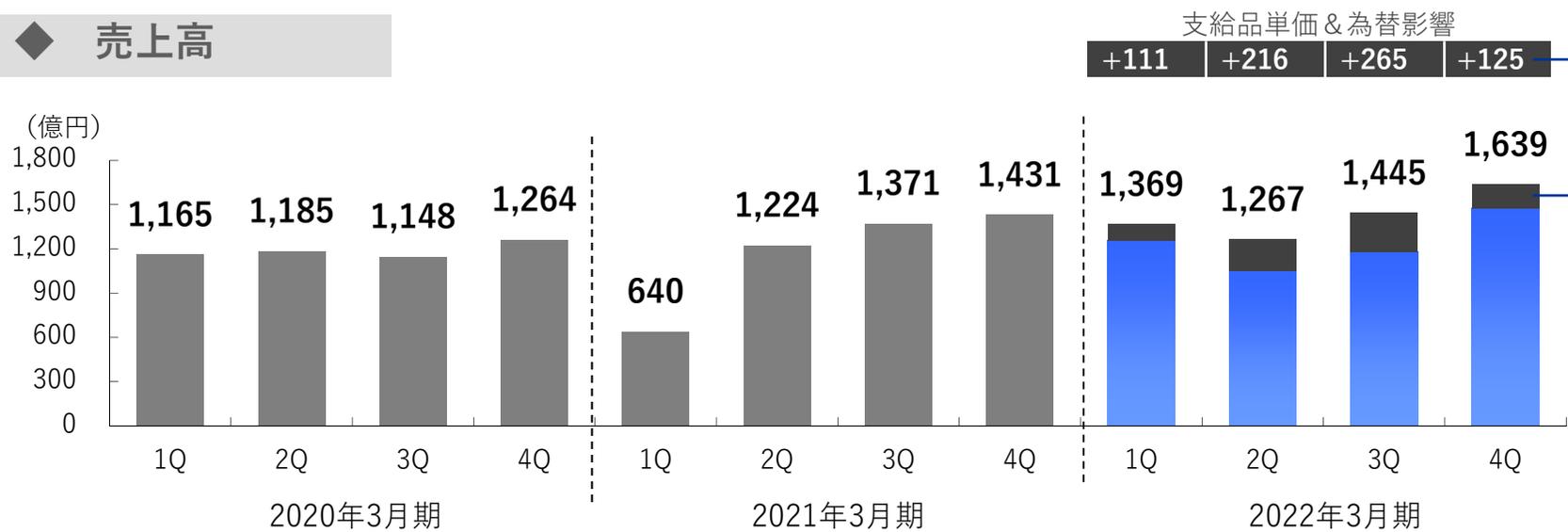
単位：百万円

		2022年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	増減	増減率
日 本	売上高	248,373	233,848	+14,525	+6.2%
	営業利益	191 (0.1%)	1,924 (0.8%)	▲1,733	▲90.0%
北 米	売上高	113,774	88,069	+25,705	+29.2%
	営業利益	▲675 (▲0.6%)	926 (1.1%)	▲1,602	—
欧 州	売上高	49,595	34,052	+15,542	+45.6%
	営業利益	712 (1.4%)	968 (2.8%)	▲255	▲26.4%
中 国	売上高	101,185	81,701	+19,484	+23.8%
	営業利益	4,600 (4.5%)	3,402 (4.2%)	+1,197	+35.2%
アジア	売上高	73,631	48,673	+24,957	+51.3%
	営業利益	872 (1.2%)	887 (1.8%)	▲15	▲1.8%
連結調整	売上高	▲14,442	▲19,535	+5,093	
	営業利益	414	▲329	+743	
合 計	売上高	572,118	466,809	+105,308	+22.6%
	営業利益	6,115 (1.1%)	7,780 (1.7%)	▲1,665	▲21.4%

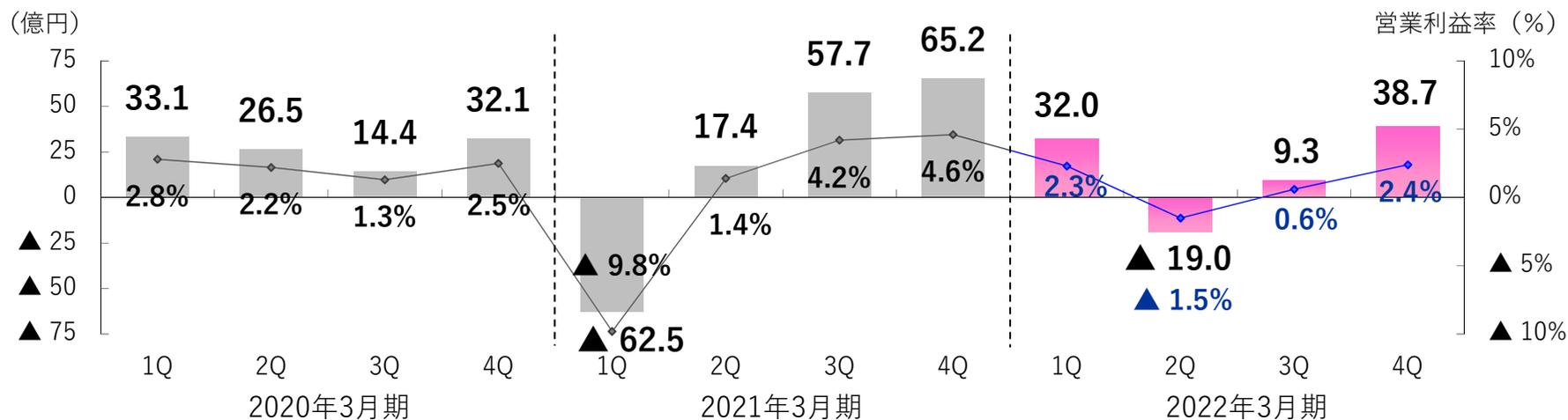
※（）内は売上高比率を表示

# 売上高と営業利益の四半期推移

## ◆ 売上高



## ◆ 営業利益



# 得意先別売上高 前期比

( ) 内は売上高比率 単位：億円

	2022年3月期 通期実績		2021年3月期 通期実績		増減	増減率
※1トヨタグループ	4,072	(71.3%)	3,348	(71.8%)	+724	+21.5%
スズキ	772	(13.5%)	529	(11.3%)	+243	+45.9%
三菱自動車	259	(4.5%)	173	(3.7%)	+85	+49.3%
本田技研	101	(1.8%)	108	(2.3%)	▲7	▲6.9%
三菱ふそう	69	(1.2%)	66	(1.4%)	+3	+5.0%
※2日産グループ	58	(1.0%)	67	(1.4%)	▲8	▲12.6%
富士フィルムBI	24	(0.4%)	92	(2.0%)	▲67	▲73.2%
その他	362	(6.3%)	281	(6.1%)	+80	+28.7%
合計	5,721	(100.0%)	4,668	(100.0%)	+1,053	+22.6%

※1 トヨタグループには、ダイハツ、日野自動車等を含む

※2 日産グループには、日産車体を含む

1. 2022年3月期 連結決算概況

2. 2023年3月期 通期業績見通し

参考資料

# 通期業績見通し

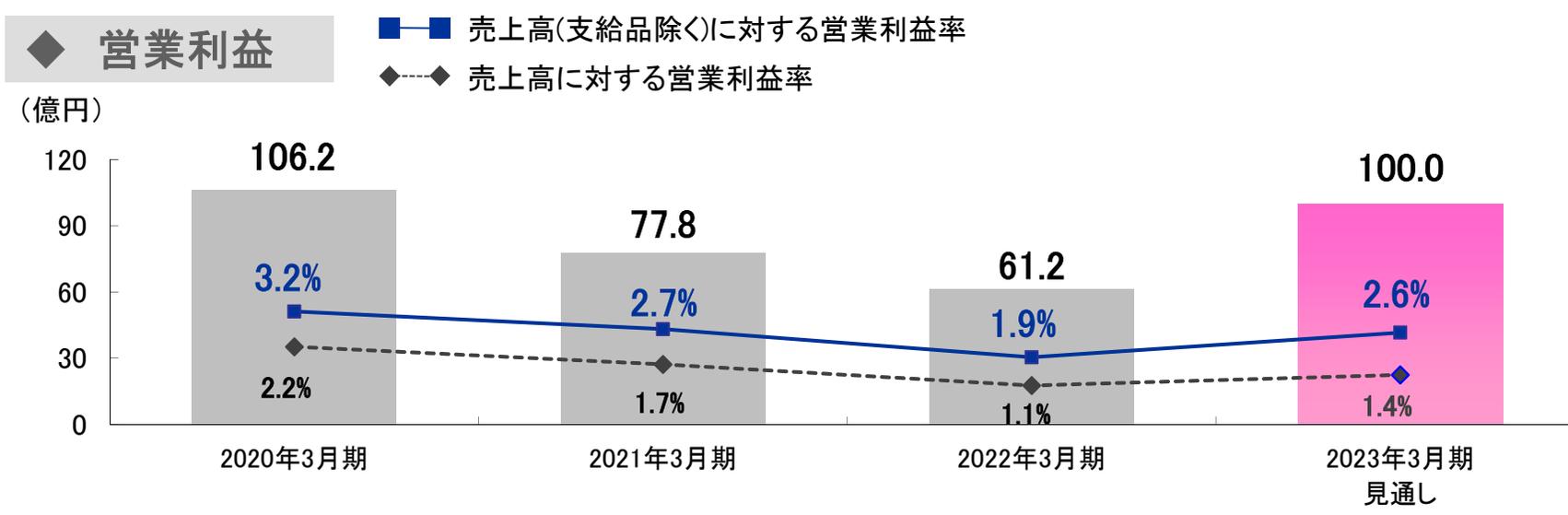
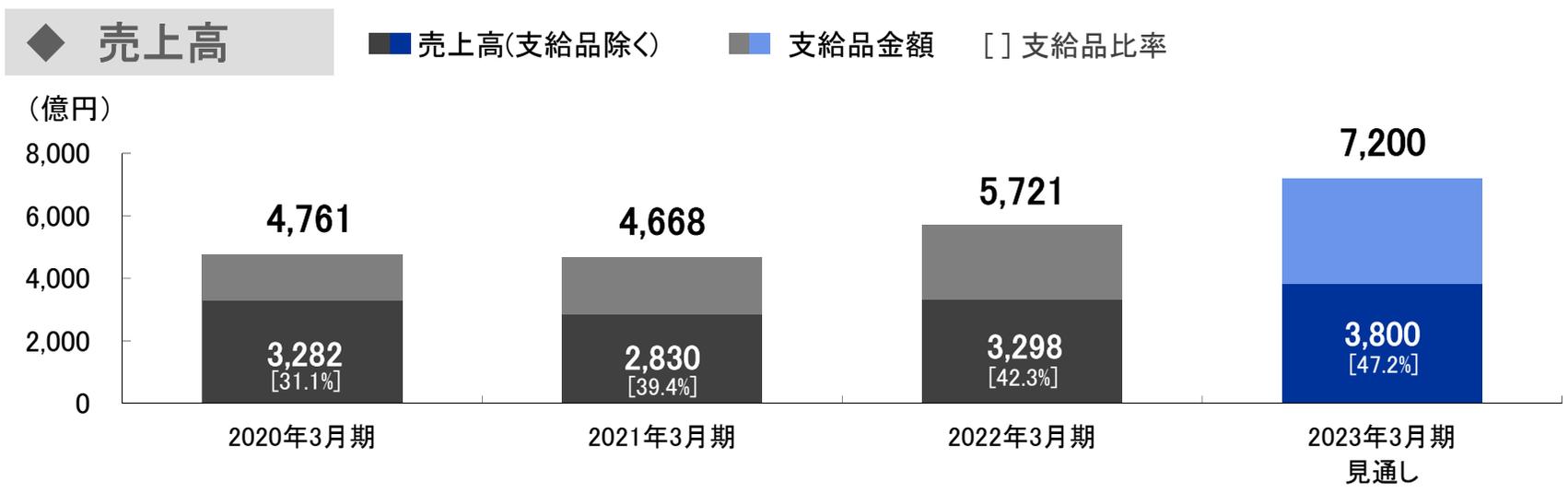
単位：億円

	2023年3月期 見通し			2022年3月期 通期実績	増減	増減率
	上半期	下半期	通期			
売上高	3,500 (100.0%)	3,700 (100.0%)	7,200 (100.0%)	5,721 (100.0%)	+1,478	+25.8%
営業利益	20 (0.6%)	80 (2.2%)	100 (1.4%)	61 (1.1%)	+38	+63.5%
経常利益	20 (0.6%)	80 (2.2%)	100 (1.4%)	78 (1.4%)	+21	+28.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	15 (0.4%)	55 (1.5%)	70 (1.0%)	33 (0.6%)	+36	+111.6%

※（）内は売上高比率を表示

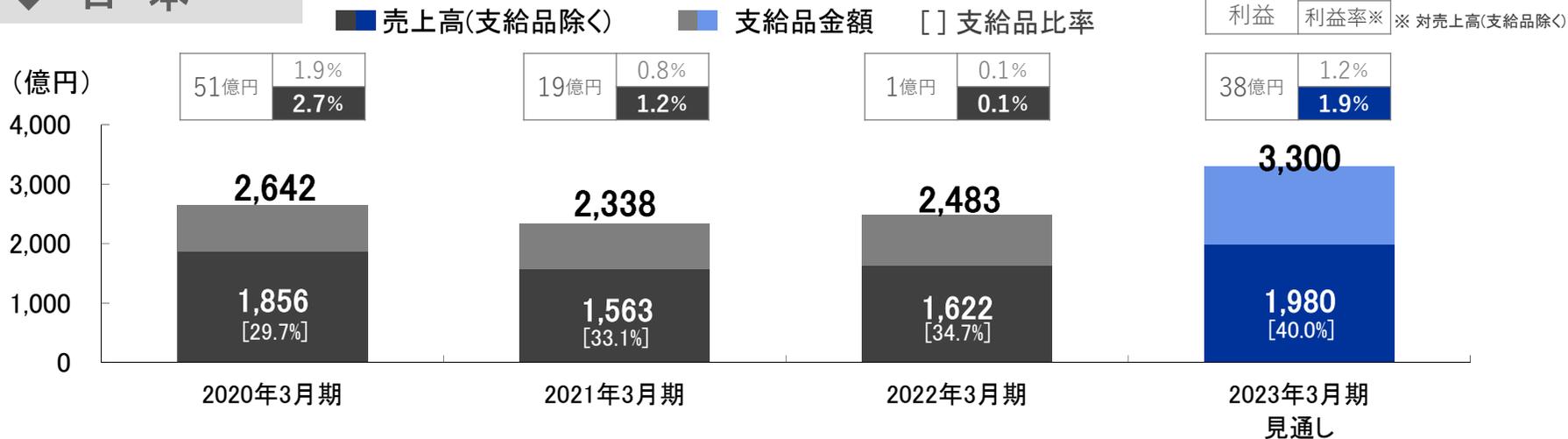
為替レート (1ドル)		125.0円	112.4円
(1元)		19.0円	17.3円

# 売上高(支給品影響)と営業利益の推移

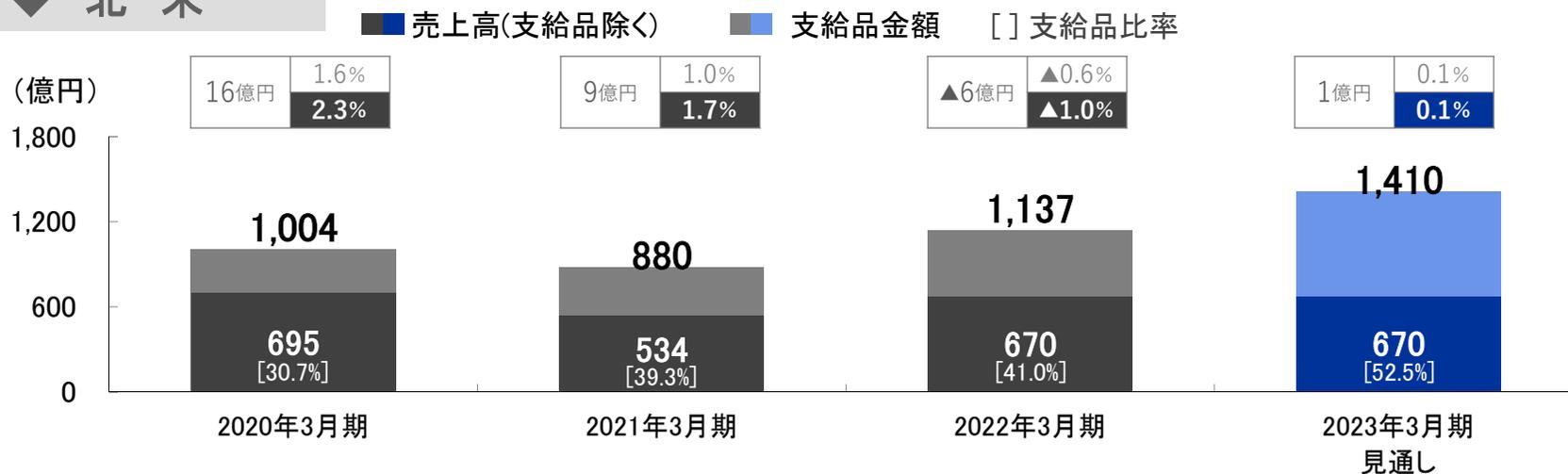


# セグメント別 売上高(支給品影響)の推移

## ◆ 日本

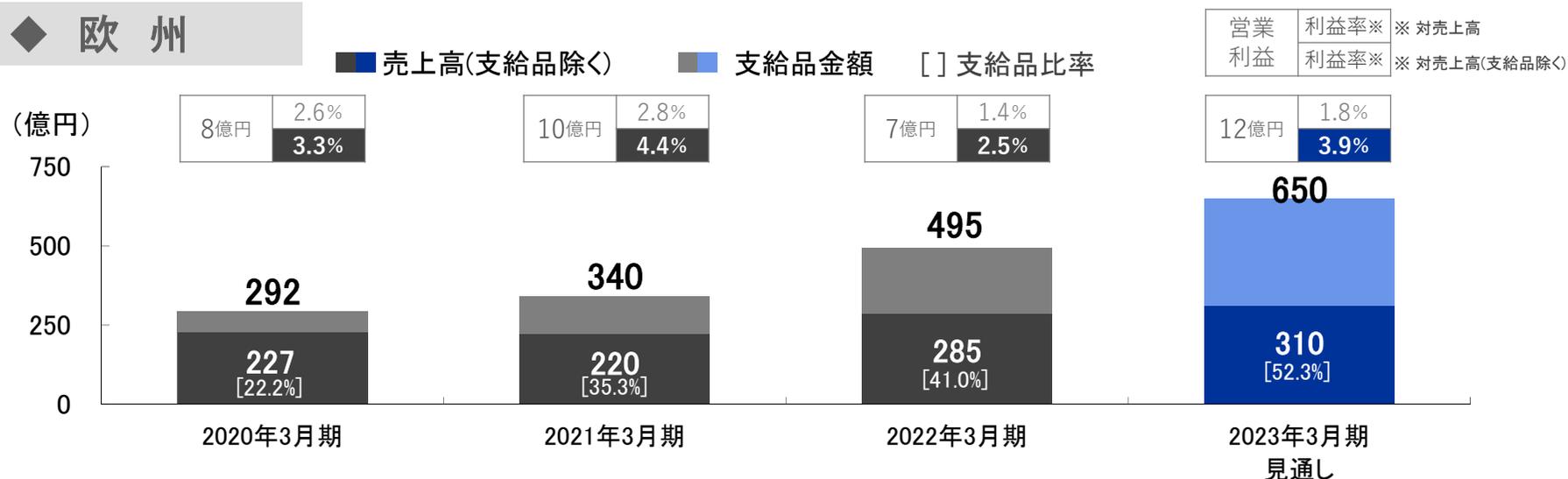


## ◆ 北米

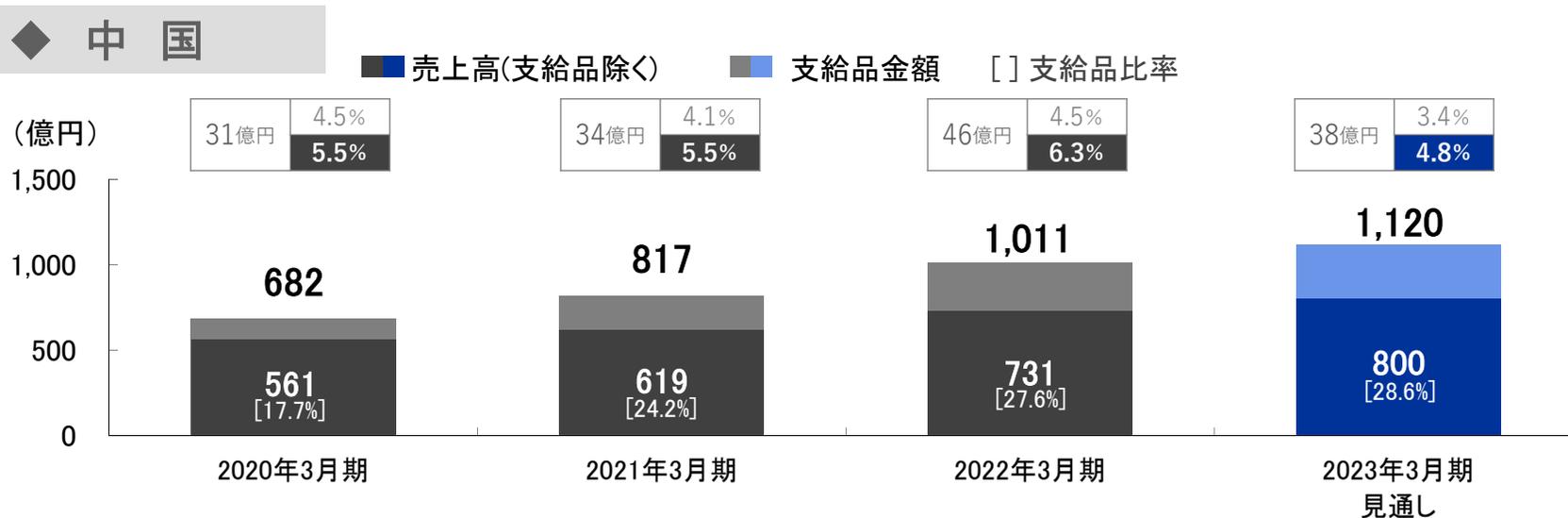


# セグメント別 売上高(支給品影響)の推移

## ◆ 欧州

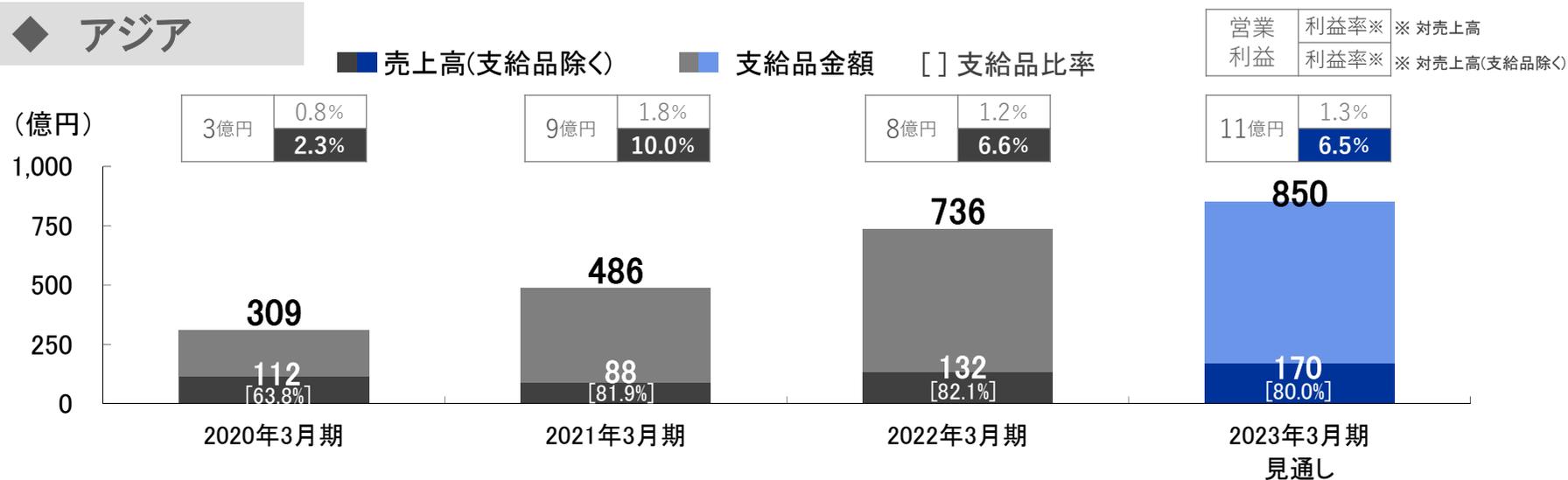


## ◆ 中国



# セグメント別 売上高(支給品影響)の推移

## ◆ アジア



1. 2022年3月期 連結決算概況

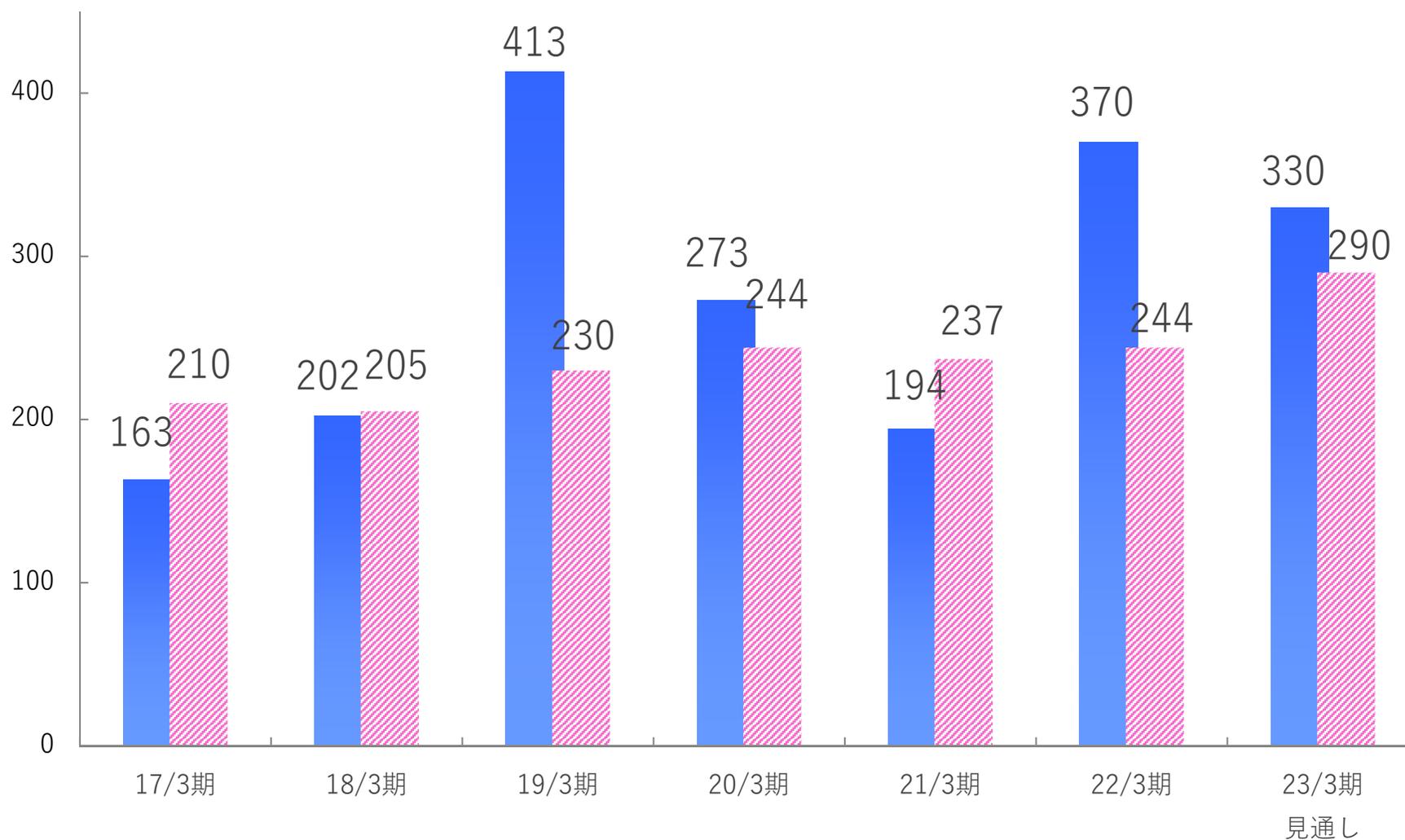
2. 2023年3月期 通期業績見通し

参考資料

# 設備投資額(完成ベース)と減価償却費の推移

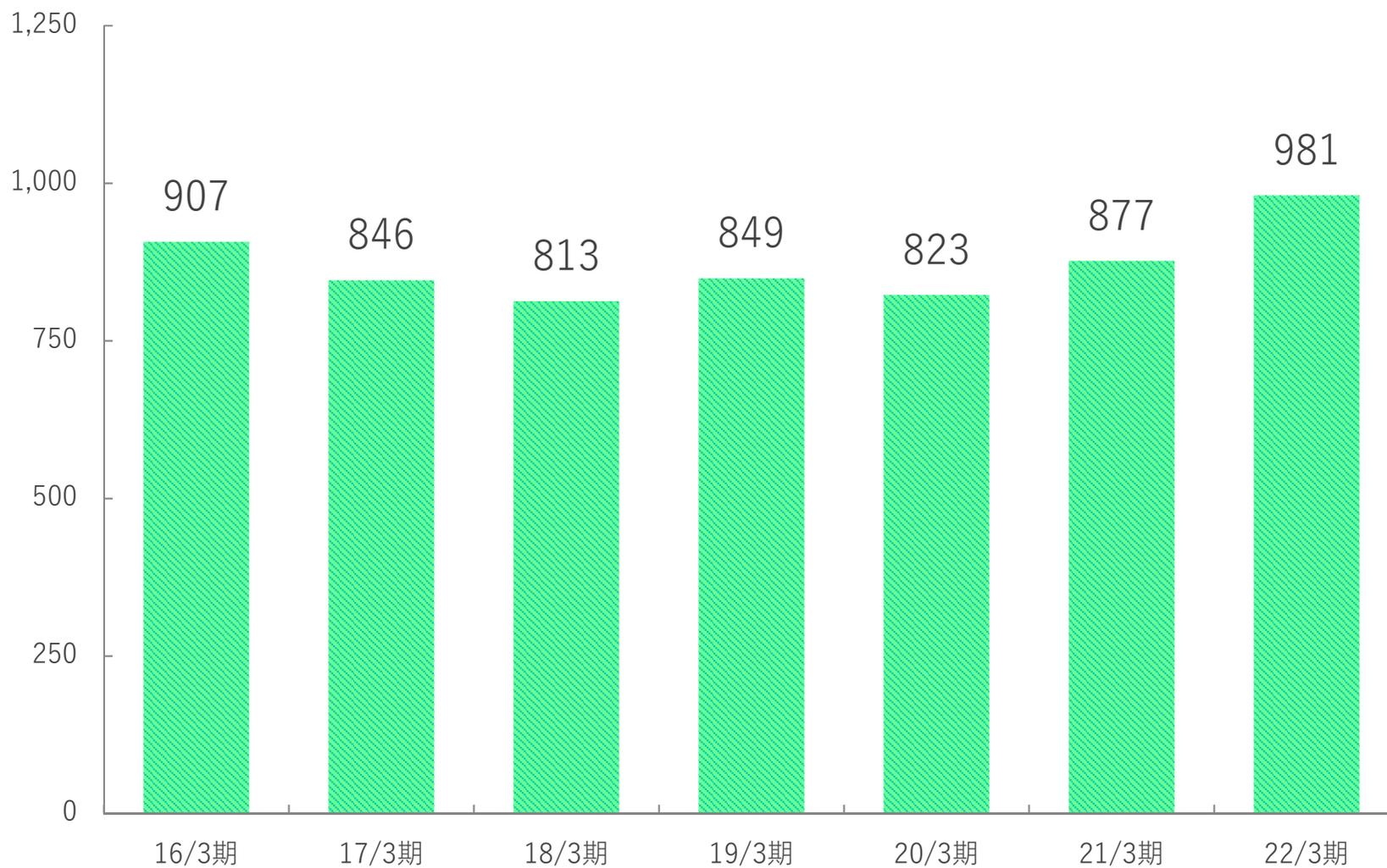
単位：億円

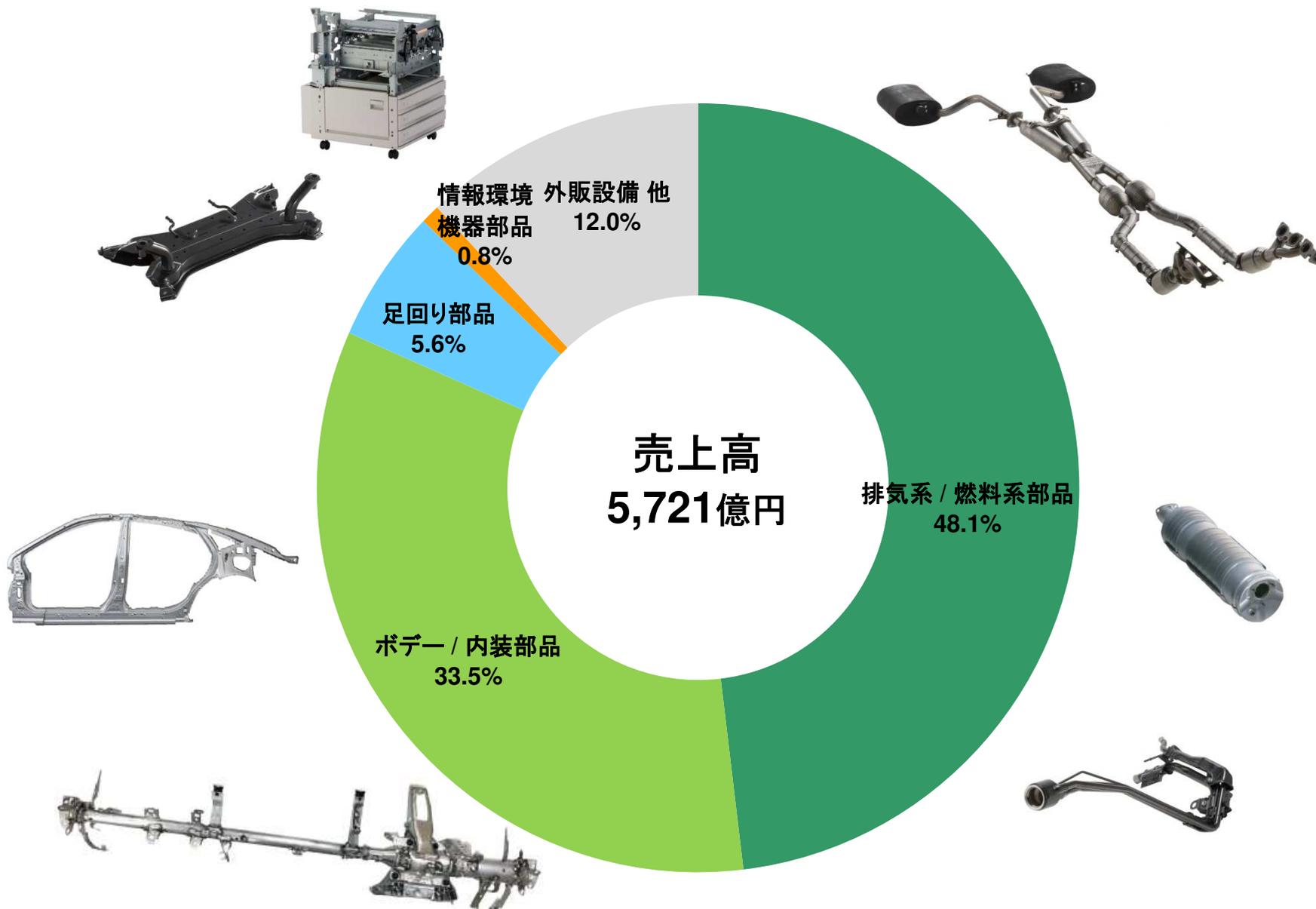
■ 設備投資額    ▨ 減価償却費

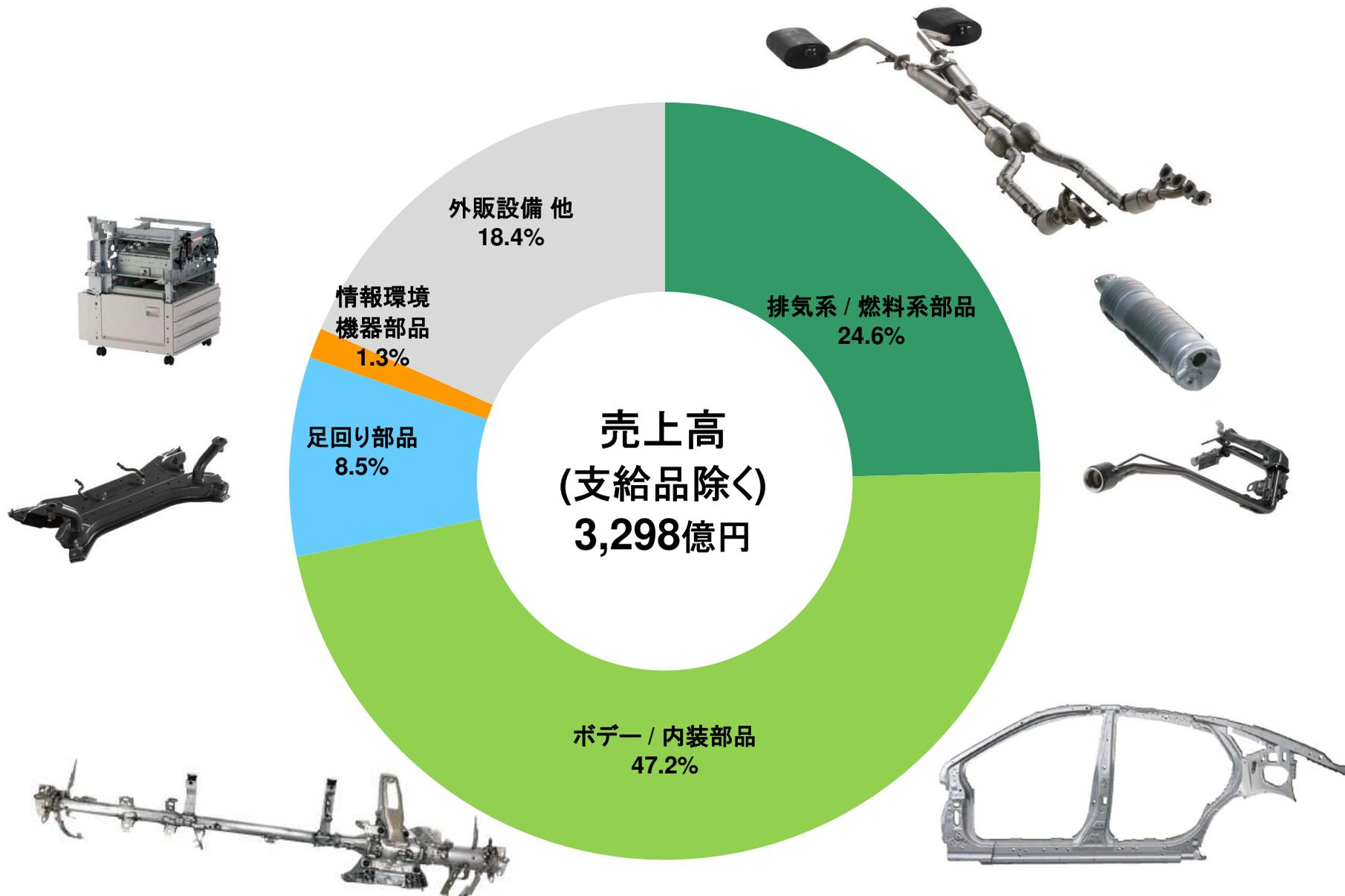


# 有利子負債残高の推移

単位：億円







本資料に記載される当社(連結子会社を含む)の見通し等は、当社が現在入手している情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従って、これらの業績見通し等のみにより全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い申し上げます。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知ください。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社、連結子会社および持分法適用会社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、対米ドルをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。

本資料に掲載のあらゆる情報はフタバ産業株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに、複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。

本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、一部の数値を億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。

# FUTABA

1. 新5カ年計画振り返り
2. 長期経営課題と対応
3. 中期経営計画



2022年5月18日  
フタバ産業株式会社  
(#7241)

---

# 1. 新5カ年計画振り返り

## 「とり戻そう、フタバのカ」、「きり拓こう、フタバの未来」

### ものづくり改革

自主研鑽活動  
 廃却不良低減活動  
 構内物流低減  
 TPS活動  
 (Toyota Production System)

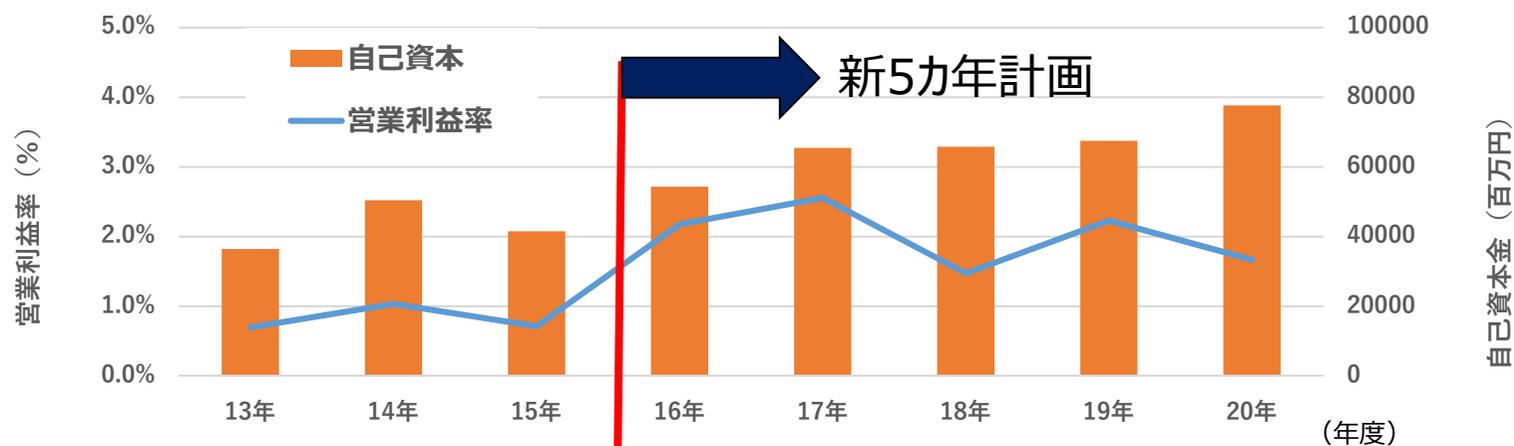
### マネジメント改革

TQM導入  
 (Total Quality Management)  
 拠点再編  
 グローバル事業計画策定  
 予算管理の展開・定着

### 技術開発

agleaf®  
 (農業用CO2貯留・供給装置)  
 ホットスタンプ導入  
 排気熱回収器  
 解析技術の強化

## 営業利益率1%→2% 自己資本+300億円を実現



---

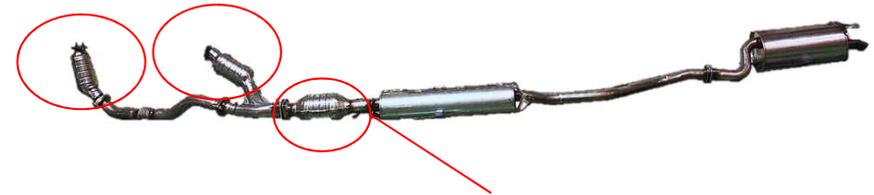
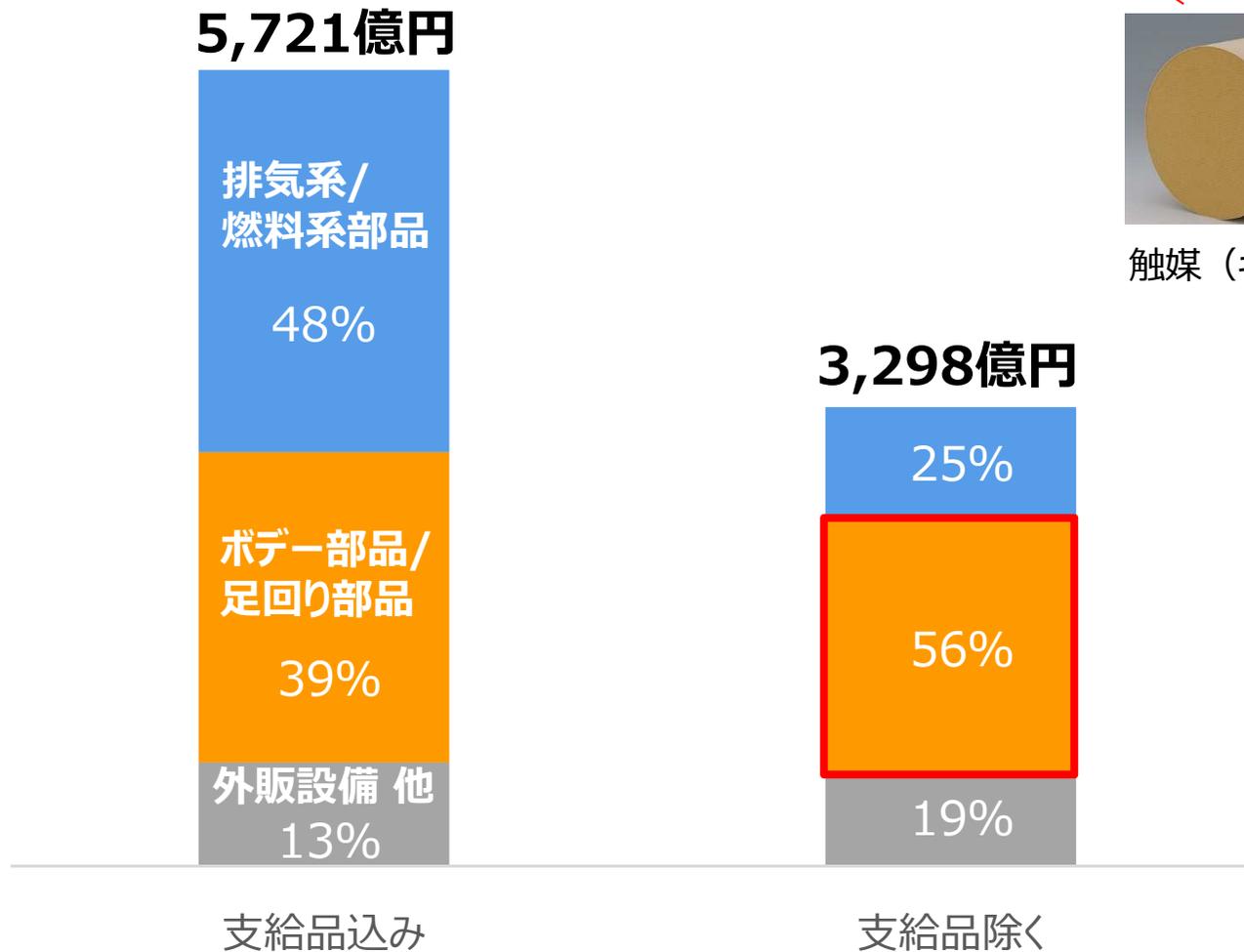
## 2. 長期経営課題と対応

(1) BEV化 ※バッテリーEV

(2) カーボンニュートラル

### (1) BEV化

【2021年度 フタバ連結売上】

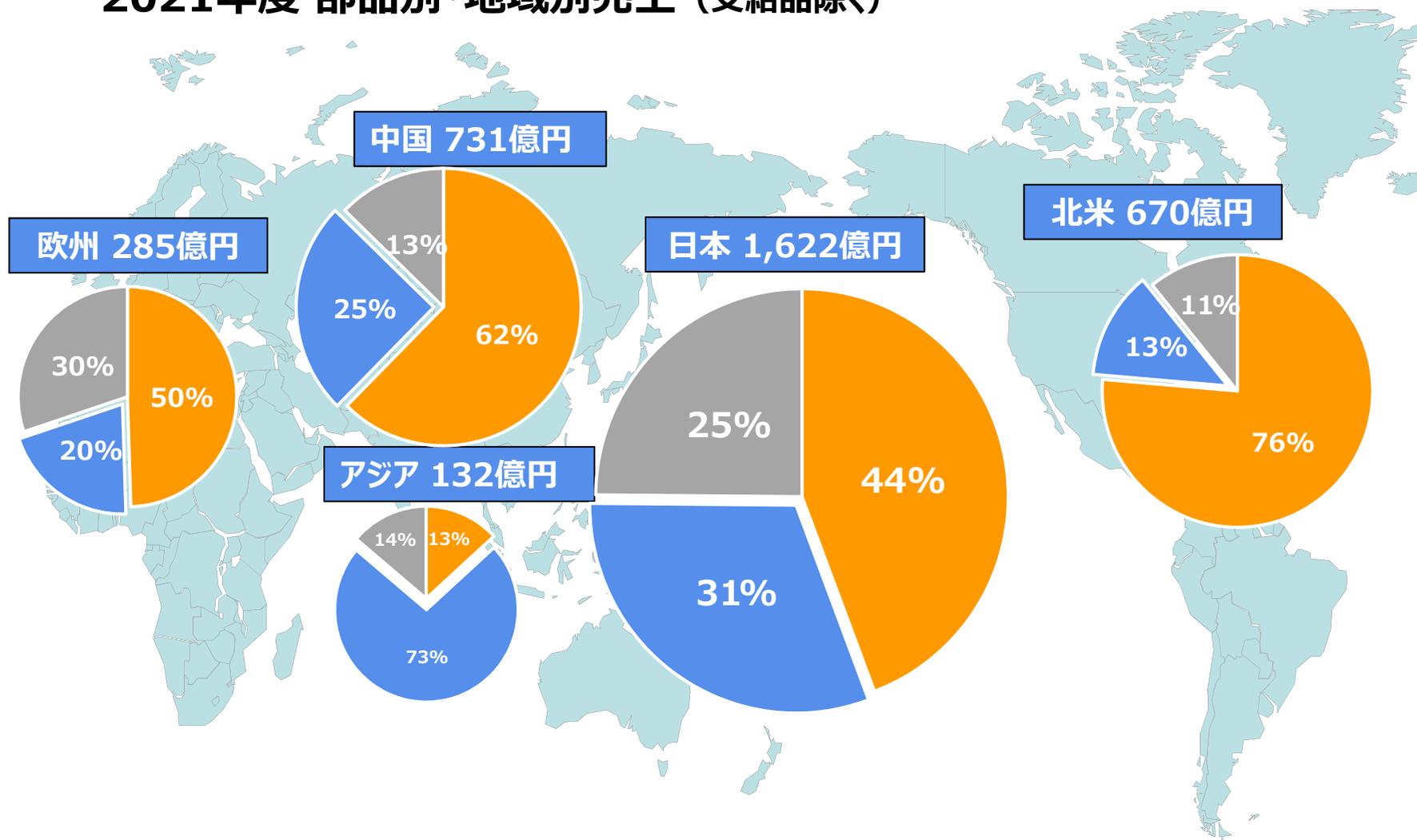


触媒 (キャタリスト)

### (1) BEV化

■ ボデー部品/足回り部品 ■ 排気系/燃料系部品 ■ 外販設備 他

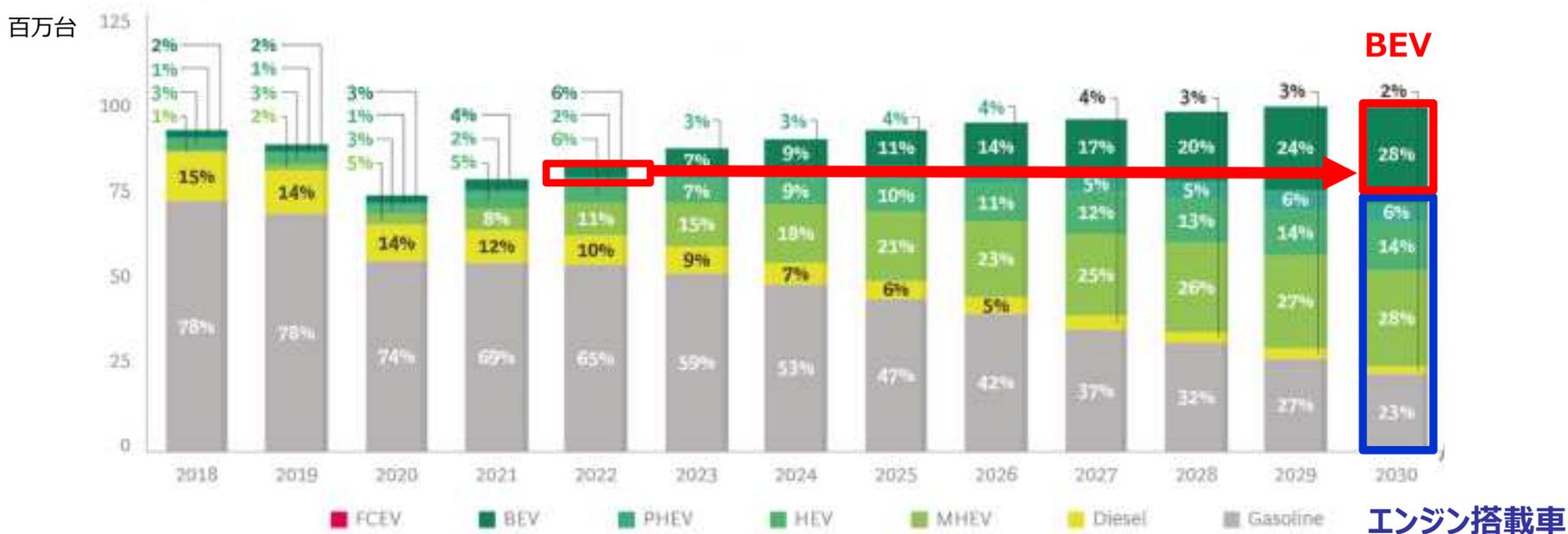
#### 2021年度 部品別・地域別売上 (支給品除く)



### (1) BEV化

#### <世界新車販売台数予測>

注: グラフ内の%表記は駆動システム別構成割合  
 出所: ポストン コンサルティング グループ  
 「Why Electric Cars Can't Come Fast Enough (2021年4月)」



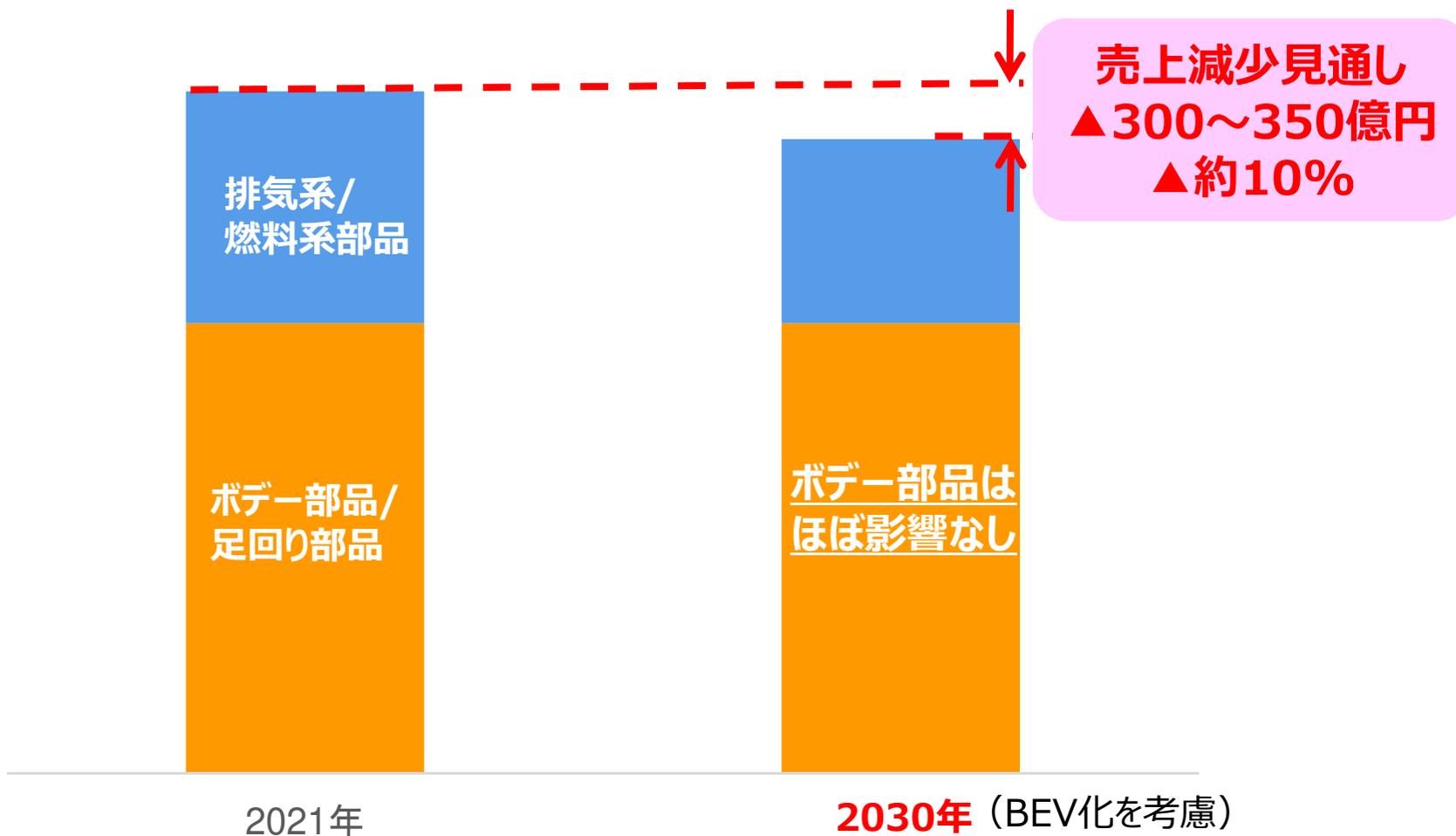
**2030年ではエンジン搭載車が減少しBEVが増加**

#### <各社BEV化戦略>

トヨタ	ホンダ	VW
2030年 世界新車販売台数 350万台	2040年 グローバルでEVとFCEVの販売を100%	2030年までに新車販売の50%をEV化
2035年 レクサス車すべてBEV化		

### (1) BEV化

#### フタバ連結の売上影響予測 (自動車関連部品・支給品除く)



### (1) BEV化

#### BEV化戦略の骨子

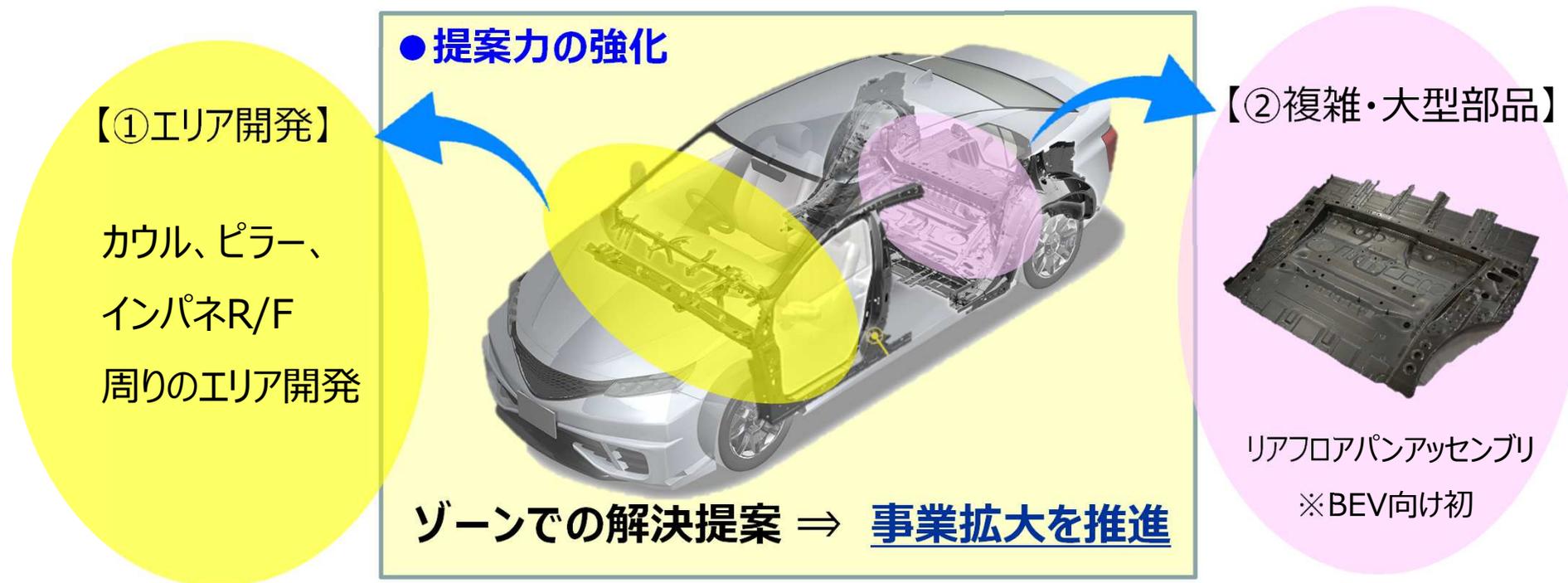
**a : ボデー部品・外販設備事業の拡大、付加価値増**

**b : 成熟市場（エンジン搭載車）でのシェア向上**

**c : 新規事業の取り組み**

### (1) BEV化

#### a : ボデー部品・外販設備事業の拡大、付加価値増



- ① CAEを含む技術開発力を活用し、エリア開発
- ② モノづくり力で複雑・大型部品へ対応

### (1) BEV化

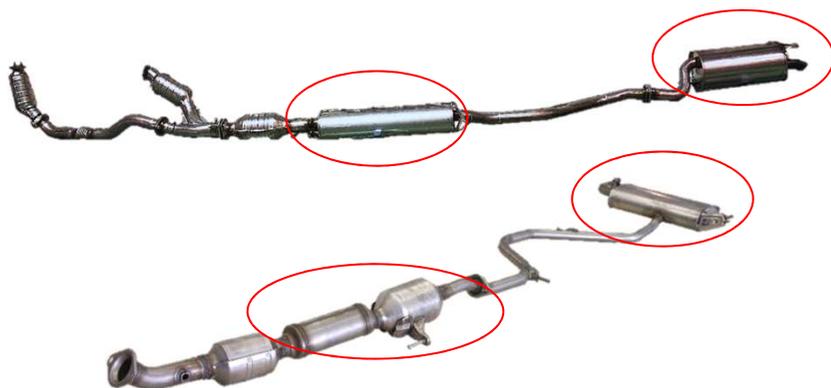
### b : 成熟市場（エンジン搭載車）でのシェア向上

「投資ミニマム」・「工数ミニマム」で標準化された排気系部品

#### 標準化・スリム開発

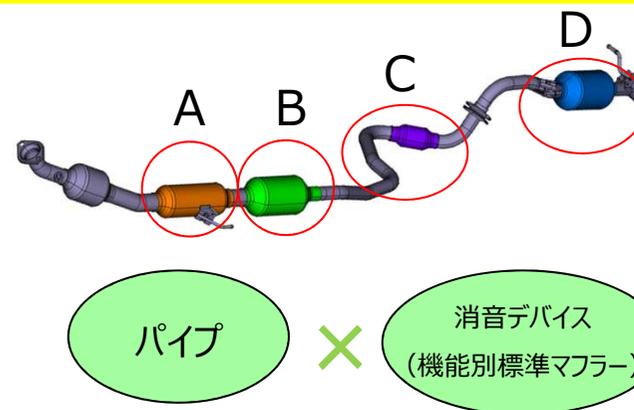
＜従来マフラー＞  
車両に合わせた個別のマフラー設計

マフラー種類・生産設備も増える



＜モジュールマフラー＞  
標準化されたマフラー設計

数種類の標準モジュールを作成  
組合せにより多車種へ対応



### (1) BEV化

#### C : 新規事業への取り組み

##### agleaf<sup>®</sup> の進化

農業ハウス栽培用CO<sub>2</sub>貯留・供給装置  
「agleaf<sup>®</sup>」の進化



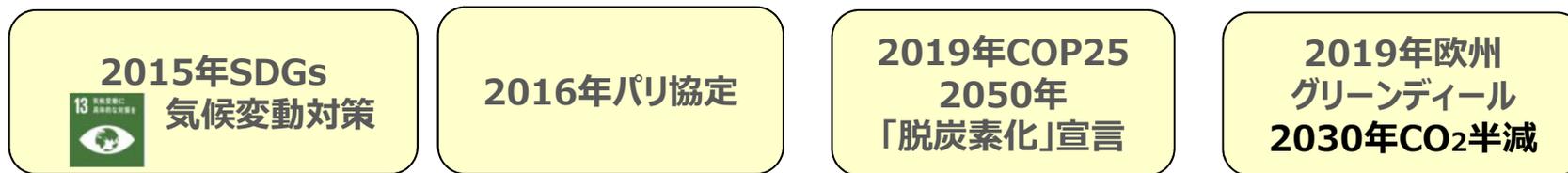
##### CO<sub>2</sub>回収&利用事業

CO<sub>2</sub>利活用技術の研究/開発  
ビジネスモデルの探求

##### 将来課題解決事業

将来の社会課題を想定し、  
フタバ保有技術を進化・応用したソリューションビジネスの創出

### (2) カーボンニュートラル



**「カーボンニュートラル社会」に向け、各国方針を表明**

CO <sub>2</sub> 削減目標	英国 	EU 	米国 	日本 
2030	▲68%以上	▲55%以上	▲50~52%	▲46%
2050	実質0			

- 再生可能エネルギー利用に向けた投資
- クレジットやグリーン電力等の購入

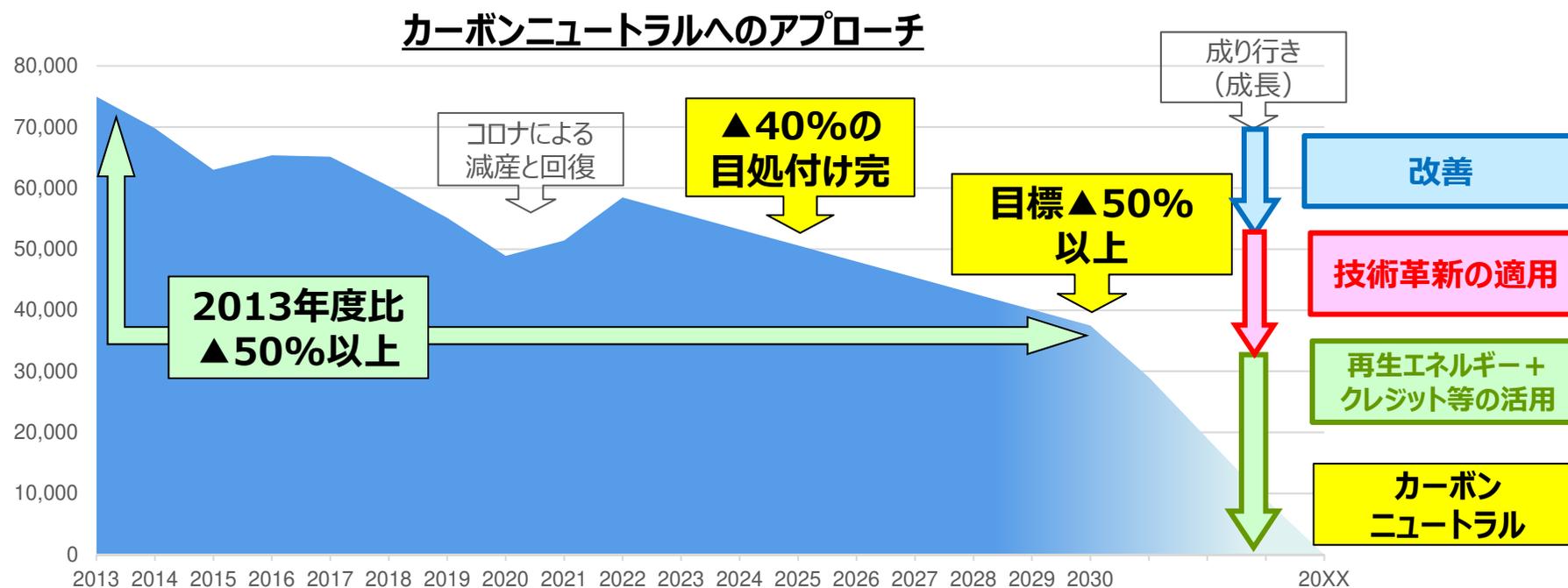
⇒コスト増加

- ライフサイクルアセスメント

⇒Scope3(物流・仕入先含む) サプライチェーン全体の対応

### (2) カーボンニュートラル

【フタバ単体】 徹底的な改善に取り組む  
工場CO2削減目標 2030年度(2013年度比) **▲50%以上**



フタバ連結及び仕入先含めたCO2削減活動推進  
カーボンニュートラルへの達成方策を策定中

## 2. 長期経営課題と対応



2030年めざす姿		
自ら考え行動し果敢に 挑戦する集団	モノづくりと技術の グローバル企業	創造力と実行力で 持続可能な企業



### 中期経営姿勢

グローバルで経営・収益基盤をさらに充実させるとともに、デジタル化とモノづくりのイノベーションにリソースを投入し、強固で持続可能なグローバル企業を目指す

### 中期経営方針

#### ■ 選ばれる会社、勝ち抜く会社に向けた強化

- ・お客様目線を意識した活動（困りごとの解決提案）
- ・部品事業の収益最大化

#### ■ 真のグローバル企業への取り組み強化

- ・本社のグローバル化促進
- ・中長期の事業戦略の実行

#### ■ 持続可能な企業基盤の強化

- ・企業価値の向上
- ・デジタル社会への環境整備
- ・新しい時代に向けた意識改革

### 2030年 めざす姿

自ら考え行動し  
果敢に挑戦する集団

モノづくりと技術  
のグローバル企業

創造力と実行力で  
持続可能な企業

## **3. 中期経営計画**

**(1)中期経営目標**

**(2)具体的取り組み**

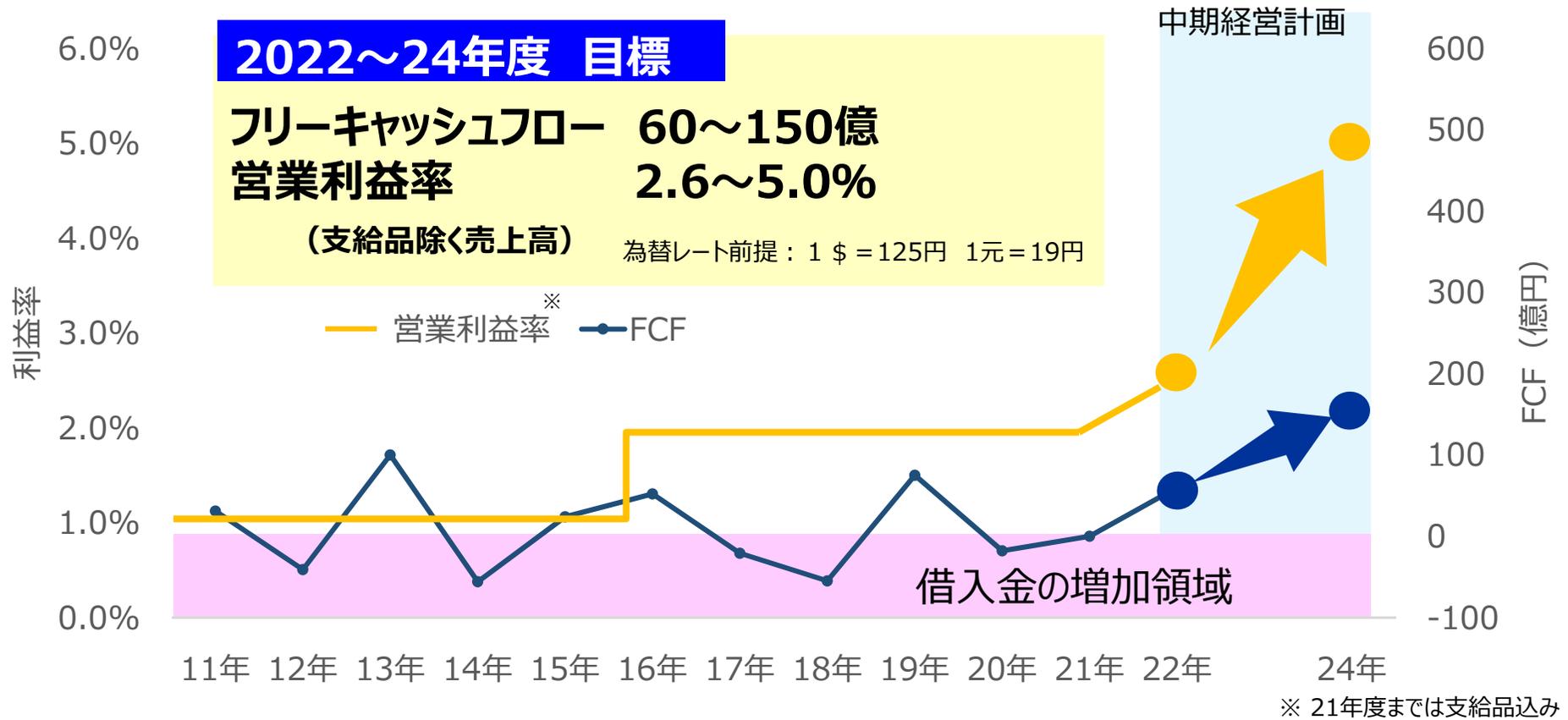
### 3. 中期経営計画

#### (1) 中期経営目標

稼ぐ力を強化し、フリーキャッシュフロー（FCF）の増加を図る



- <用途>
- 株主還元
  - 有利子負債返済
  - 成長投資



## (2) 具体的取り組み

### 2022年度グローバル会社方針・重点実施事項

企業 基盤	1.安全・品質	重大災害/火災と重要品質問題を絶対に起こさない企業文化と仕組みづくり
	2.人材育成	グローバル人材育成といきいきとした職場づくり
	3.DX	会社の改革を実現するためのアーキテクチャー再構築
成長 戦略	4.環境への貢献	脱炭素社会・カーボンニュートラルを目指したCO2排出量削減 省エネ活動のグローバル展開
	競争力強化	
	5.利益向上	ベストプラクティス活動を基軸とした競争力向上 新規生準投資最適化（金型・設備投資）
	6.投資	キャッシュフローベースの投資管理
	7.持続的成長	将来の成長に向けた戦略の確実な実行と変化に即応する企画推進
	8.付加価値向上	持続的成長に向けた将来の社会課題を解決する新規事業の創出

## (2) 具体的取り組み例 ～稼ぐ活動～

**・業界ベスト ・素早くグローバル展開**

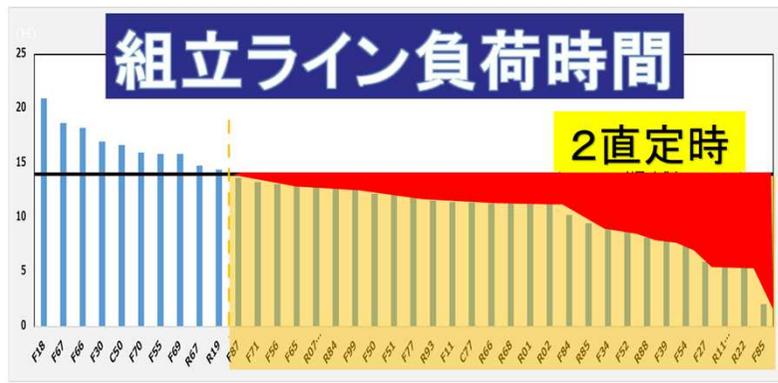
### プレスの生産性向上

目標：10%向上  
モデル工場：岡崎工場  
対象ライン：トランスファー10ライン  
ロボット1ライン



### ライン集約

目標：稼働率90%以上  
モデル工場：六ツ美/幸田工場  
対象ライン：ボデー 47ライン  
排気 36ライン



## (2) 具体的取り組み例 ～DX～

① デジタルサポートにより、  
ものづくり力強化を加速

- ・生産リードタイムと在庫のMIN化
- ・低付加価値作業の自動・無人化
- ・生産効率のMAX化

工場の集中・遠隔管理



② Virtual One Factory

- ・工場を一カ所で集中管理
- ・間接のスリム化

シミュレーション



生産情報・品質



CO<sub>2</sub>・エネルギー



生産プロセススルーでのデータ連携・活用

生産現場での自動化・無人化（搬送・検査・生産）



入荷



スタンピング



工程内物流



組立



出荷

#### (2) 具体的取り組み

- 3つの提供価値

「環境」 自然環境への負荷を低減する排気系部品

「安心」 人を危険から守り、安心できるボデー・内装部品

「豊かな生活」 生活品質を高める製品・サービス

アグリーフ、新規事業（社会ソリューション創造室）

- 多くのステークホルダーの皆様へ価値提供、  
情報発信を増やしていきます

#### フタバに関するステークホルダー



## ご清聴ありがとうございました

<注意事項> 本資料に記載されている将来に関する業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想値であり、不確実性やリスクを含んでおります。そのため 実際の結果は様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。

